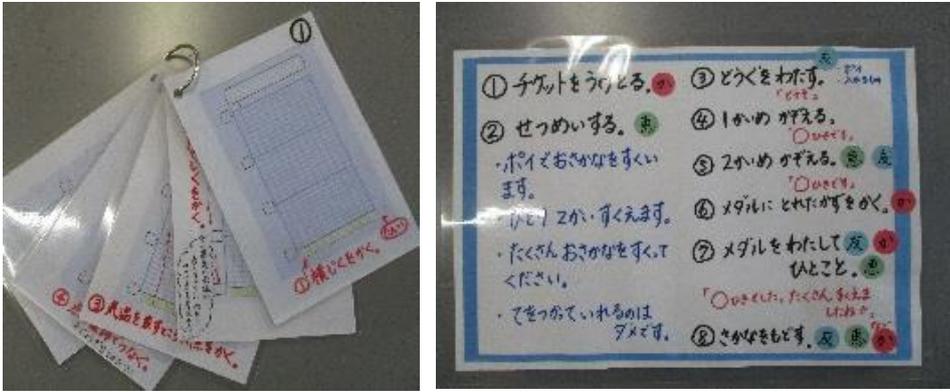


教材・支援機器活用実践事例

【指示の理解に困難のある児童が手順を理解し、
自分で取り組むことができる教材の工夫】

子どもについて	学校・学級	小学校 特別支援学級（自閉症・情緒障がい）	
	対象の障がい	自閉症スペクトラム	
	授業形態	小集団	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一斉指導や板書などから、指示や内容を理解して行動することが難しい。 ○ いつ、どこに、どのように書くのか、行動するのかなどが分からない。 ○ 何度も確認して、納得すると取り組むことができる。 	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	グラフのかき方手順表（算数）	手順と役割分担シート
	活用のねらい	 <ul style="list-style-type: none"> ○ めくり式の手順カードなので、一つずつ手順を確認し、視覚的に整理して進めることができる。 ○ 全体の流れを見通して行うことができるように一枚のシートにしてある。ラミネートされたシートなので、分担をシールで貼り、役割交代の際もはがして何度も使用することができる。 	
授業における支援 ・教材の配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書と同じ色・手順で作成し、特に注意するところは、文字の色や大きさなどで強調するようにした。 ○ 学習の内容によって、カード式やシートなど、形式を工夫し、必要に応じて使用するようにした。 	
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童は、手順表など目に見える手立てがあることにより、随時確認しながら最後まで自分で取り組むことができた。 ○ 教師に何度も確認したり、何をしてもよいのか戸惑ったりすることが減り、自分でできたという達成感が自信につながっていた。 ○ 手順と役割分担がシートに表示されているので、友達とのトラブルが減り、仲良く活動する手助けとなった。 	